

### 【付記】1

『人民の歴史学』213号(2017年9月発行)掲載の拙稿「近世日本の異端的宗教活動と秩序意識」p.2 下段前半部で、鹿児島藩領の隠れ念仏の信仰活動に関する史料について正確でない記述がありました。

拙稿では、この史料を「幕末、西本願寺から鹿児島藩領に派遣された使僧が西本願寺へ問い合わせたことに対する……本山からの返答」といたしましたが、正確には「幕末、琉球で活動していた了覚が取次寺を通じて西本願寺に問い合わせたことに対する……本山からの返答」です。ただし、この史料は、大局的には、鹿児島藩領の隠れ念仏の信仰活動に通じるところがありますので、文脈上の論旨は変わりません。

本論文を著書としてまとめるときに、改めてこの記述を訂正することにいたします。また、琉球における浄土真宗・隠れ念仏については、別個に検討する必要があると考えております。いずれも、他日を期したいと思っております。

2017年11月 大橋幸泰

### 【付記】2

p.3 下段 12 行目、皮屋町の「えた」身分の者たちの檀那寺は「大音寺」ではなく、「大光寺」が正しいようです(磯本恒信「長崎の風土と被差別部落史祖考」『論集 長崎の部落史』長崎県部落史研究所、1992年、p.191)。阿南重幸氏からご指摘を賜りました。感謝申し上げます。

2017年12月 大橋幸泰